

各社提供参考資料

各社提供参考資料では、下記企業から提供いただいた当時の指示書、レポート、ファックスなどを、ほぼ原文のまま掲載した。

神鋼トラベルサービス株式会社

地震防災対策

非常持ち出し(貴重品・重要書類等)

日本通運株式会社

阪神大震災における検討事項

兵庫県南部地震対策関連事務連絡(状況報告)

兵庫県南部地震対策関連事務連絡新聞会館持ち出しリスト)

新聞会館物品回収作戦について

株式会社阪急交通社

「災害の発生に当面して」

兵庫県南部地震に関して

平成7年兵庫県南部地震状況報告

励ましをいただいた人への御礼の手紙

神鋼トラベルサービス株式会社

96年2月1日

地震防災対策

95年01月17日の阪神・淡路大震災を機に、神鋼本社が中心となって、本社を始め関連グループの防災対策の見直しが推進され、当社に対しても検討依頼がなされている。

これを機に当社の被災状況の再把握と共に防災対策を以下のとおり設定し実施したい。

記

1. 防災対策の方針

当社は、95年1月17日の阪神・淡路大震災により、本社営業所が全壊となり、社員の自宅待機、休業制度の導入等、事業の縮小を余儀なくされるに至った、又本社営業所の全壊により、貴重品や重要書類及びOA機器の損壊によるデータの喪失等により、関係官庁への報告義務すら滞るという、苦くかつ貴重な体験をした。

防災対策の検討に当たっては、当社で出来る範囲内で身近な物から検討する事とする。

主な対策内容は以下のとおりです。

2. 対策内容

1) 非常持ち出しの分類と整理

- 1 (貴重品、重要書類) を分類し、貴重品については金庫内保管を原則とする
- 2 重要書類については、必ずパイプファイルを使用し、一見してそれと分かるよう、背表紙の色を「赤色」に統一する。
- 3 一般書類については、背表紙の色を「赤色」以外の色を使用する
- 4 非常持ち出しについては、必ず「非常持ち出し一覧表」を作成する
- 5 重要書類については、コピーを神戸と東京に分散保管し万一に備える

2) 緊急事故対策業務分掌等の設定

当社は神戸製鋼の子会社であると共に、運輸省管轄下の旅行会社であり、営業活動をするためには運輸省の許可を必要とし3年毎に更新登録をしなければ、旅行会社としての資格を失う。

96年度更新手続きに当たって、旅行会社として以下の3点について別紙のとおりに見直し設定済みであり、これを準用する。

- 1 緊急事故対策業務分掌
- 2 緊急時の組織
- 3 緊急時の連絡網

3)事務所内キャビネット類の倒壊防止対策

事務所内収納書庫等については、ボルトによるキャビネット間の接続固定及び壁面との固定等の防災対策を施す。

4)携帯電話の配備

原則として各営業所に1台以上の携帯電話を設置し、非常の場合は連絡用として活用する。

(現有の携帯電話)

本社営業所 ○○○-××-△△△△△ (電話会社名) リースか、もしくは買い取りか
.....(以下省略)

5)移動手段の整備

原則として現有の社用車を活用するものとし、常に整備点検に心掛ける。又小回りのきくバイクや自転車等の配備を検討する。

(現有の社用車)

本社営業所 台数 車名 ナンバー リースか、もしくは買い取りか
.....(以下省略)

6)システムの再構築(見込み)

ウイキャンを導入しシステムの再構築中であり、本社をキーに各営業所をオンラインで結び、業務の効率化と「データ」の分散保管を図るべくバックアップを確実に行之、震災等に備える。

(ウイキャン導入費用)

ハード 器具備品 費用
.....(以下省略)

7)非常用品の配備

ヘルメット、緊急サバイバルキット(食料品、飲料水、革手袋、救命ロープ、懐中電灯等)、ラジオ等を各営業所に備える。

8)防災訓練の実施

年2回1月17日と9月1日に各営業所毎に防災訓練を行う

非常持ち出し(貴重品・重要書類等)

本社 1階総務Gr-1

資料名	備考(内容等)	
A	1.会社設立時関係書類 2.会社設立時届出書類 3.増資関係書類	発起人会議事録 税務署・財務事務所・区役所・労働基準局・会議所・法務局 IATA申請時の増資関係
B	許認可関係 1.一般旅行業新規登録申請書 2.一般旅行業更新登録申請書 3.登録事項変更届出書 4.両替商申請書 5.損害保険代理店申請書 6.国内線代理店申請書 7.IATA承認申請書 8.日本旅行業協会入会申請書	運輸省への申請書類 運輸省への申請書類 大阪運輸局への変更届け 税関への申請書類(神戸・東京) 同和火災・日本火災との代理店契約書 日本航空・全日空・日本エアシステムとの発券契約 ファイル発券Gr保管
C	契約関係 1.一般契約書 2.賃貸借・リース契約書 3.旅行業務委託契約書 4.主催旅行委託契約書 5.ホテル斡旋契約書 6.その他斡旋契約書 7.地上手配契約書	神鋼社章使用・出向契約、持ち株会、派遣契約等 事務所賃貸契約、寮社宅、機器類リース契約、 航空会社・交通公社端末使用契約 ホテル・旅館の手配 海上輸送、バス、タクシー、食事等 海外業者との地上手配関係の契約
D	1.取締役会議事録	
E	人事関係 1.履歴書 2.労働契約書 3.出向関係書類	
F	社会保険関係 1.厚生年金保険 2.健康保険 3.定期健康診断 4.労働者名簿	
G	金庫内保管 1.現金 2.預金通帳 3.社印・社長印 4.重要書類ファイル 5.IATAインプリンター 6.IATACIPプレート 7.IATA関係書類	営業保証預り書、有価証券等 各航空会社の発券プレート 国際航空券原票、チケットカバー、BSP決裁関係

資料名	備考(内容等)
H	給与関係
	1.出勤簿
	2.賃金台帳
	3.扶養控除等申告書
	4.社会保険料内訳
I	経理関係
	1.会計伝票
	2.証憑類
	3.月次・期末決算書類
	4.代理店手数料明細書
	5.発券請求一覧表
J	その他
	1.規定集
	就業規則、賃金規定、旅費規定、退職規定
	2.申請書類
	決裁申請書、出張申請書

日本通運株式会社

阪神大震災における検討事項

神戸旅行支店

1 1月17日の状況

震災直後市内は停電となり、電話は不通、水道は止まりました。出社すべく、車で自宅を出たが大渋滞で車にての移動は不可能でした。単車に乗り換え三宮に向いましたが、途中長田区では多くの家が倒壊し、いたるところで小さな火災が発生していました。車は大渋滞でしたが、単車は問題なく進みました。

三宮ではビルの倒壊も多かった。神戸旅行支店の入っている新聞会館は、外から見るには外壁のガラスの破損が目立つ程度でしたが、屋内は停電のため真っ暗で、懐中電灯がなければ入れない状況でした。8階の事務所内は支柱もかなりの被害を受け、ロッカー類が倒壊し、書類が散乱していました。

【検討事項】

・移動には単車が必要

単車を備蓄するわけにはいかないが、保有している社員を登録しておく事も必要ではないか。ただし、二次災害の危険も考慮にいれておく必要もある。

・電話がほとんど不通となった。

一部公衆電話のみ通じており、三宮周辺の公衆電話には黒山のひとだかりであった。神戸支店では、2階の公衆電話が使えた。神戸旅行支店の電話、ファックスはビルの交換機破損のため以降使用不能。携帯電話はどうか確認要？

・社員の安全確認は自宅で行う。

旅行中の緊急連絡先一覧が役にたった。

・電話不通の社員宅には単車で出かけ確認。

・水道、使用不可のため飲み水が不足。

2 1月18日・19日の状況

朝、新聞会館まで出かけるが、建物崩壊の危険ありということで、入館制限となった。神戸支店訪問、熊野支店長、木村次長他対策を検討しておられた。

神戸旅行のスタッフは私と課長一名であったが、新聞会館は使用不能と思われたので、支店長にとりあえずの事務所として19日より会議室をお借りしたいと願い出、その場で了承いただく。

新聞会館より、とりあえずの必要書類パソコンその他持てるだけのものを持ち出す。神戸支店の電話もすべて不通、2階の公衆のみ使用可。

【検討事項】

・事務所の設置ができなかった場合の処置は考えられず、会議室をお借りできた事はたいへんラッキーであった。

旅行特定との連絡も取れず、緊急時でもあるため、とりあえずの初動は稟申しで行わざるを得なかった。赴任以来、神戸支店へは営業協力をお願い等のためよく訪問していたが、それが役にたったと考えております。

・新電話の設置は神戸支店にする。NTTへは、従来の電話を移送する手配を入れる。従来は回線8本を利用していたが、1本のためなかなか通じない。

3 20日以降

【社員関連】

・社員の安全確認は19日で大半できたが、1名は不明のため自宅へ捜しに行く。自宅崩壊、近くの小学校に避難している事を確認。

- ・自宅崩壊等の場合、家族の安全確認、避難、物資調達等、大半が不通のなかで電話をかけるのはたいへん困難であった。
- ・交通手段も寸断されているため、今後の出勤体制について検討する必要がある。一応、管理職以外、1月31日までは自宅待機とする。
- ・自宅全壊者について、社宅を申請。
- ・救援物資は21日より届いたが、それを自宅まで届けるのにバイクを利用。
- ・組合との打ち合わせ。
- ・被害状況の再調査(第一次は20日終了)。

【重要書類持ち出し】

- ・新聞会館の物資持ち出しは、ビルの階段が使用不能のため、外に仮設階段を設置し持ち出しとなった。
- ・25日、神戸旅行職員14名、大阪旅行の管理職10名の協力を得て持ち出しを行う(事故についての責任は自ら負うという書類にサイン)。
- ・26-28日は神戸旅行にて行う。
- ・JTBは業者に依頼していた。
- ・什器類は持ち出せず。
- ・リース物件、レンタル物件は業者に連絡(実損なし)。

【営業関連】

- ・25日、必要最低限の書類を持ち出し、ツアー取消等の連絡を開始する。
- ・新事務所の検討。
- ・NTTへの回線設置依頼(神戸支店、情報との打ち合わせ)。

- ・仮事務所営業の案内を顧客に発送。

【渉外関連】

- ・新聞会館との賃貸借契約解除。
- ・コンピューター、その他の回線関係、NTT、情報との打ち合わせ。

【物資関連】

- ・水その他不足は2~3日(自宅崩壊のもの以外)。
- ・スーパー等は意外に早く復旧した。
- ・2月にはいると、物資も余り気味であった。

兵庫県南部地震対策関連事務連絡

SUBJECT: 状況報告

ワープロ機能が回復いたしました。

先般より連絡いたしておりますが、神戸旅行社員22名の安全が確認されていますので、今後は下記につき、十二分な対策を立てたく考えています。

1 業務必要書類(営業関連書類を含む)の回収

現在、新聞会館は立ち入り禁止であり、テナントに向け、書類回収その他連絡は今しばらく待つてほしいとの掲示があり、現段階では当方にて回収リストを作成のうえ、万全を尽くす予定。

わたくしは、17日、19日両日神戸旅行の事務所があります8階まで上がりましたが、その状況を連絡します。

会館は南側守衛事務所のある業務入り口のみ開いていましたが、入館は禁止であるが無理にお願いして、責任は自己で取ると言明させられ入館しました。階段は内部にあるため真っ暗で、懐中電灯を頼りに上りました。

階段はがれきの山となり、鉄骨が露出、8階部分の内部ガラス戸はすべて破損していましたが、当事務所の入口ガラスは分厚く、鉄の枠があるため破損してはいず、圧力のためか鍵を開けても開きませんので、こじ開けて入りました。

外側の窓はすべて破損、明るく、風が入っていますが、大半のロッカー類、情報端末は倒れ、積み重なり、部屋の支柱は鉄骨が露出しており、足の踏み場もない状況ですが、火、水の侵害を受けていないので、時間をかければ大半を回収できると判断しています。回収の割り当てがあると思いますが、時間制限が予想されますので、回収には人力と手際良さが必要であると考えます。

屋内の写真を撮り、とりあえず私のパソコン、プリンターその他手に持てるファイルを持ち出しました。17日、地震直後午前中に上がりましたが、状況把握のみで回収はできませんでした。

・段ボール箱にて回収を考えています。

2 営業関連

- ・1月出発ツアー(1月19日大阪旅行に発信済み)、はオーガナイザーと確認を取りキャンセル分はキャンセル手続きをとる。
- ・大阪旅行、主催との連携中。
- ・香港旅行支払い済みデポジット関連等は、好意を受け回収可能の連絡を受ける。
- ・2月出発についても引き続き処理中。
- ・この機会を好機と捉え、営業に活かすことも考えるべしと指示。
- ・顧客へのお見舞い電話、お見舞いはがきを出す事も検討。
- ・3月以降のツアー確保も絶えず念頭においておくよう指示。

3 売り掛け金確認等、事故を防ぐよう徹底

大手顧客を除き、中小関連は回収資料と時期を検討し確認する。

(※編集注、4は削除)

5 その他

- ・新聞会館、仮事務所移設の掲示2箇所済み。
- ・オーガナイザー各位へも極力、移設の連絡を入れる。
- ・大阪旅行も通じ、各関係先へも告知する。
- ・JATA関西支部にも兵庫支部事務局長として19日状況連絡済み。
- ・社員の、勤務計画、休みの取り扱いについて総務の指示を受ける。
- ・緊急物資(すでに到着済み)を仮事務所に保持し、社員その他関係者に通知、利用いただく。
- ・神戸市内被災状況、仮事務所状況、新聞会館等写真に記録済み。
- ・神戸旅行電話番号を仮設事務所に移設するよう、電話業者を通じNTTに交渉中。

兵庫県南部地震対策関連事務連絡

SUBJECT:新聞会館持ち出しリスト(問い合わせ分)

標記につきましては、昨日別紙作戦を完了しました。
28日まで回収可能ですので、引き続き努力します。

- 1.旅券 すべて回収
- 2.金庫保管／
現金・預金通帳
トラベルチェック(トーマスクック、ビザ)
ITATA関係(航空券、インプリンター、キャリアプレート他)
ギフト旅行券
国内、航空券、クーポン券類
領収書(一部)
バリデーション
社印類
- 3.顧客名簿
- 4.ツアーファイル
- 5.入金管理表(一部)
- 6.クレジットCAT
- 7.ワープロ
- 8.電話端末 10台

本日回収予定

- 1.コムネット 1台
- 2.出勤簿
- 3.領収書、請求書類
- 4.携行外貨精算書
- 5.その他

*コムネット、キャリア端末、コピーその他リース、レンタル物品については業務と相談の上各関係先へ連絡。

新聞会館物品回収作戦について

【作戦展開日】

平成7年1月25日

【状況】

11:00より新聞会館よりテナントに対して状況説明会。

その後、仮設階段にて荷降ろしを行うとのこと。階段の大きさは幅80cm位で、建設現場の仮設階段であり、大きい物は搬出できない。

テナントごとに、時間を分けて…との意見も出しましたが、揃ったところから許可するとのこと。

【屋内状況】

屋内はロッカー類、その他倒れ、会館内の支柱も破損している。

外側のガラスは大半破損している。

書類は散乱。

会館の階段は壁が落ち、利用不可能とのこと(私が17日、19日利用した時点では、がれきの山であるが、利用できた。これが利用できれば積み降ろしが便利である、ただし真っ暗なため一応懐中電灯を用意する)。

8階事務所状況は入り口ガラスドアが圧力で開きにくく、現在はとりあえずこじ開けた分(一人がやっと通れるくらい)開いている。

まず、これをあける。

8階部分に踊り場(山一の食堂前)にスペースがあるので、回収した荷物はマジックで、日通、内容を簡単に記入し集める。

【スタンバイ】

11:00までに、積み降ろしスタッフは神戸新聞会館に集合。

階段の使用等、積み降ろしが混雑するので、積み降ろし隊長(山崎)の指示に従って行動願いま

す。

【注意事項】

- ・瓦礫の落下に注意、ヘルメットを必ず使用する。
- ・ガラス片が散乱しているので、手袋使用、軍手は注意要。
- ・ビル階段を利用する可能性があるため一応、懐中電灯準備。
- ・余震の可能性もあるため、回収作業は速やかに、確実に。

【作戦要領(第1段階)】

- ・8階に上がったらず段ボール組立作業(班長、浜本課長)。

荷物一時保管スペース確保

- ・8階ドアこじ開け作業(山崎)。
- ・ロッカー類が倒れているが、必要な個所のみ処理をする。

すべてを整理するにはたいへんな時間を要するし、回収書類がより散乱するのを防ぐため。

【作戦要領(第2段階)】

- ・神戸旅行社員はまず、身の回りの必要書類を回収。

援助隊員はその袋、段ボールを踊り場へ移動、新しい段ボールを持ち入れ。

- ・柳原課長、業務関連とその他書類が多いので、援助隊員3名張り付け(猪俣、援助隊長担当)。
- ・神戸旅行としての必要書類 山崎の指示に従って下さい。

1995年1月26日 販売開発課発行

西日本旅客営業本部ニュース緊急増刊号

「災害の発生に当面して」

常務取締役 神畑純夫

去る17日未明、阪神地区の広域に亘って甚大な被害をおよぼした兵庫県南部地震発生から一週間を経ました。この地区に生活と仕事の場を持たれる旅客部門の皆様が蒙られた心的、物的被害の大きさを思うと、今更ながら胸の痛みを覚えます。

それはさて置き、小職が感銘を受けたのは、事故当日から、直ちに数多くの社員の方々が「私心」を顧みず、寝食を忘れて当社の非常事態の危機に対処されて来たモラルの高さです。人の真価は非常時に判ると申しますが、このモラルが続く限り我が社の将来は万全です。

今から当分の間、被災地に関わる皆様方は、公私両面での苦しい日々を余儀なくされることとなりますが、お互いに「より良き明日」が来ることを信じて、この難局を乗り越えたいと存じます。

1月17日火曜日未明、兵庫県南部地震により多くの社員の方が被災され、またわが社の営業所においても大きな被害を被りました。この非常事態に対して、阪神地区の営業所の実情と今後の対策・方針、また対策本部の詳細などを中心に掲載いたします。

●地震発生からの動き

1月17日(火)午前5時46分地震発生

当日、出勤はしたものの、グランドビルのエレベーターが使えず、階段にて17F迄上がった。事務所内はパーテーションが倒れ、机の引き出しが飛び出て、ひどい有様であった。各所から電話が入ってくるものの、情報はテレビしかなく、刻々とひどい

現状が明らかになってゆきます。出勤人数も少ない中で、事務所の整理と電話の対応に追われた。とりあえず、課単位で各社員の自宅へ電話を入れ、安否の確認をした。

1月18日(水)

社員の安否および、家屋の状況について問い合わせをし、確認する作業が続く。支店関係の情報が寄せられ、伊丹トラベルセンターの使用不可に続き、西宮支店のビルも使用不可の確認が取れる。その後、三宮支店東館の状況がテレビ等で映し出される。神戸支店についても、ビル崩壊の情報が入る。

1月19日(木)

閉鎖店舗を、神戸支店、三宮支店、西宮支店、伊丹トラベルセンターの4カ所とし、その店舗において取り扱っている顧客からの電話が各営業所に入る。NTTに連絡し、フリーダイヤルをグランドビル16Fの梅田北支店に設置した。そこを対策本部として常駐メンバーを決め、スタートする。総務、人事部より罹災した社員に対しての緊急差し入れ、および見舞金の支給を決定。長岡独身寮の使用について認める。

1月20日(金)

各紙(朝日、毎日、読売、産経、日経)朝刊に広告を掲載。救援物資を購入し、西宮、宝塚、ホテルオークラ神戸の3カ所に備蓄することに決定。

11:30、西宮トラベルセンターに向け、源係長をはじめとする5名が救援物資を持って出発。

13:30、ホテルオークラ神戸、宝塚に向け、久木山主査をはじめ27名が両手に大きな荷物を持って出発。出発に際し、本山本部長よりご挨拶を賜り、拍手で見送られる。

当日までは交通機関が不便のため、自転車等の使用を考えていたが、何とか各種交通機関を乗り継げば行けることを確認。

梅田-(阪急)-宝塚-(JR)-三田-(神鉄)-

谷上-(北神急行)-神戸-(徒歩)-

ホテルオークラ神戸(所要時間4時間)

22:45、救援部隊の最終がグランドビルに帰着。全員の声を聞くと、非常に良い経験をしたとのこと。現場を生目で見たことで、かなり顔が変わっていた。日が過ぎるごとに被害が大きくなっている。

1月21日(土)

1月22日(日)

避難をしている社員に対して電話で連絡を取り、救援物資の備蓄の話をした。

●救援物資

西宮トラベルセンター、宝塚トラベルセンター、ホテルオークラ神戸営業所

1月20日(金)、上記3カ所へ運搬。8割ほどが飲食類。

1月21日(土)、上記3カ所へ運搬。組合より。

1月24日(火)、ホテルオークラ神戸、カーゴ三宮支店分室へ運搬。ほとんどが家庭用品並びに衣類。

1月25日(水)から各避難所、自宅へ配送するため、10名がレンタカー5台で運搬を開始した。

●西日本旅客において現在閉鎖中(営業停止中)の営業所

西宮支店、神戸支店、三宮支店、伊丹トラベルセンター、ホテルオークラ神戸営業所、神戸ハーバーランド営業所、伊丹定期券発売所、三宮定期券発売所

●閉鎖中の支店の営業面での相談場所

西日本旅客営業本部 兵庫県南部地震対策本部
阪急グランドビル16F(梅田北支店内)

フリーダイヤル:0120-06-3736

1月19日午後4時より暫定期間

閉鎖中支店関係の業務及びお客様の相談業務全般

●今後の動き(24日現在)

・1月25日(水)から救援物資を各避難所及び自宅に届ける。

・1月26日(木)、1月27日(金)の2日間、被災を受けた支店・営業所(神戸支店、三宮支店、ホテルオークラ神戸、神戸ハーバーランド、西宮支店、西宮トラベルセンター、伊丹トラベルセンター)に勤務する社員を完全休養日とし、代替要員の派遣を東日本および九州旅客営業本部に依頼した。

・被災を受けた支店・営業所に勤務する社員の勤務先については未定。

●閉鎖中の支店・営業所の詳細情報(1月24日現在)

	建物	立ち入り	持ち出し	勤務社員と営業	連絡
神戸	ビルの3F部分に入居していたが、3F部分が崩壊。2Fと4F部分がくっついている。移転決定。	まったくできない	不可	グランドビル16F対策本部、ホテルオークラ神戸、姫路営業所、FITセンターにシフト制で常駐。	営業での連絡はすべて16F対策本部で受け付け。 個人的には対策本部でシフトを確認。※
三宮	入居している東館が壊滅。取り壊し決定。移転などは未定。	1/21許可 現在禁止	貴重品 書類のみ	営業はすべて16F対策本部で受け付ける。	
ホテルオークラ神戸	ビル自体は損傷無し。移転の必要無し。	営業所は開けている。ただけている。	—	社員は常駐。営業は受け付けない。営業はホテルが機能し始めてから。しかしホテル側の再開の見込みは立っていない。	

阪急交通社

社内報 平成7年1月23日 No.3

社達(第7-2号)

平成7年1月23日 社長

兵庫県南部地震に関して

このたびの兵庫県南部地震により、被災された社員並びにご家族に対し心からお見舞い申し上げます。社員の人命に被害は無かったというものの、ご親類の方々でご不幸な事態に至られた社員も数多くおられるものと、ご心労をお察し申し上げます。家屋家財の被害も甚大なものであり、復旧には多大の困難や不安があるとは思いますが、強い気持ちを持って復旧に取り組んでください。会社もできるだけの支援協力を惜しまない所存であります。

わが社の阪神地区営業所においても大きな被害を被り、復旧には多くの人手と費用を要するものと思われます。物的損害のみならず、営業の困難も大きく、同地区の再建には多くの辛苦を伴いますが、一日も早く営業を再開するために、全力を傾注して取り組んでおります。

被災された社員の生活安定や営業体制の復活のために、私も陣頭にたって努力いたしますが、社員各位においても、被災者の苦難に思いを寄せ、できるだけの支援をしていただくようお願いいたします。

今回の地震災害は、阪神地区に限定された問題ではなく、全社に影響する非常事態であります。この大きな試練を克服し、一層の飛躍の糧にすることが我々の使命と捉え、今後の皆さんのご奮闘をお願いいたします。

お知らせ

兵庫県南部地震で被害を受け、現在閉鎖中の営業所は下記のとおりです。

記

旅客事業本部 西宮支店 神戸支店 三宮支店 伊丹トラベルセンター ホテルオークラ神戸営業所
神戸ハーバーランド営業所 伊丹定期券発売所 三宮定期券発売所

関連事業本部 西宮ミモザ 伊丹ミモザ 神戸東ミモザ 神戸西ミモザ 宝塚薔薇館 バンビ(ポートピア) バンビ(K-CAT) ハーフエンハウス 神戸サービスコーナー 西宮プレイガイド 今津ステーションショップ 伊丹ステーションショップ

以上

平成7年1月18日

西日本旅客営業本部
第2営業部
藤井部長殿

神戸支店
藤森憲司

平成7年兵庫県南部地震状況報告

地震が発生して2日目、大きな被害を受けた神戸・三宮へ私と島本・豊田両係長の3名で向いました。ようやく再開した阪急電車に乗り、西宮北口駅に到着しました。電車は各駅停車のみの運行で、まだ便数が少ないためか車内は大変混雑していました。終点となった駅前では、大変多くの人で一杯でした。西宮北口駅からの交通機関は、阪急バスによる宝塚までの代替え輸送のみで、他には何もありませんでした。私たちは仕方なく一路、三宮を目指しました。

途中の光景は、あちこちで見られる道路の亀裂。道路をも占領した木造家屋の全壊やビルの倒壊。まるでゴムのように折り曲がった高速道路や電車の線路。交通整理や復旧作業に携わる数えきれない程の警察官・自衛隊員の数。方々で鳴り響く救急車・消防自動車のサイレンの音。黙々と歩く人々の列。毛布を被って道路にうずくまる人々の姿。その光景は、まるで戦場そのものでした。戦後に生まれ、映画やテレビでしか見たことのない光景が現実、今、目の前に広がっているのです。

大阪にいて、今まで経験したことのない大きな揺れと恐怖を感じたものの、食器や本が倒れた程度の被害しか受けなかった私にとりましては、それは想像を絶するものでした。

約3時間で神戸・三宮に着きました。早速、神戸支店のある三宮ビルに行きました。一瞬、啞然としました。我々の事務所である3階部分の窓がまったくありませんでした。4階と2階に挟まれて押しつぶされていました。もし2時間でも発生が遅かったらと考えると背筋が寒くなりました。

以下各支店・営業所の状況報告を致します。

神戸支店

ビル自体の倒壊はしておりませんが、前述しましたように3階部分が圧縮されてしまい、安全のため、現在立入禁止の状態です。今後取り壊しか補修かは調査中との事ですが、我々の入居していました3階部分に関しては、完全に壊滅した状態です。内部の必要書類等一切持ち出し不可能です。

三宮支店

駅ビル自体がかなりの被害を受け、道路に面した部分では、瓦礫の山となって道路を占領し、一部傾き周辺は立入禁止の状態です。支店内部までは見ることができなかったですが、駅ビル自体の建て直しが必要な状態です。

ホテルオークラ営業所

ホテル自体に被害があり、現在当分の間休業の状態です。被害状況からすると最低1カ月は必要と思われます。営業所内は、一部壁が崩れ、机・コンピュータ端末が室内に散乱しております。近場の出発のお客様資料を持ちだし今後の対応を致します。

ハーバーランド営業所

百貨店自体に被害があり、現在当分の間休業の状態です。被害状況からするとこちらも最低1カ月は必要と思われます。営業所内部は、机・コンピュータ端末が室内に散乱している程度で特に大きな被害はない模様です。近場の出発のお客様の資料を持ち出し今後の対応を致します。

以上

励ましをいただいた人への御礼の手紙

拝啓 この度の阪神大震災に際しましては、暖かい励ましのお電話を頂戴し、誠に有難うございました。

早いものであの震災から4週間が過ぎようとしています。今回の震災におきましては、私の身内には被災者は無く、全員元気に過ごしております。ライフライン(今年の流行語になるでしょう)も、震災当日から通常通り維持されておりました。

ただあまりの大きい縦・横の揺れにより本棚の本はすべて倒れ、食器棚の食器がいくつか割れました。それからというものその後に続く余震にも脅えながら、家族みんなで一つの布団にくるまり、テレビのニュースをじっと見つめておりました。

2時間ほどが過ぎ家族のみんなも少し落ち着いてきました。当日は、すべての交通機関が止まり、会社にも行けず、仕方なく家の中の片付けをしながら、テレビのニュースを見ておりましたら、死者の数が発表される毎に100名単位で増えていき、今回の地震の大きさに驚くばかりでした。

その後になって、会社のある神戸・三宮がかなり大きな被害を受けているという状況が徐々に判明してまいりました。我が支店の約9割が神戸市内の居住でしたので、まず社員の安否をと、社員の自宅へ電話をかけるのですが、どの家も話し中の状態でまったくつながりませんでした。夕方までにあまり被害のなかった数人の社員から連絡があり安否の確認ができたのですが、そんな連絡の中に、我々が入居している神戸支店のビルの中間階が壊れている。それも、玩具にある“達磨落とし”のように我々の入居していた3階の部分がまったく無くなってしまって、9階建のビルが8階になっているという報告を受けたのです。テレビで放映されている三宮の状況は良く知っていたのですが、まさか我々のビルが、それも我々が入居していた3階が…と、自分の耳を疑いました。

翌日、あまり被害のなかった大阪周辺に居住の社員2名と神戸に向いました。震災2日目で大阪市内でも点検…等で一部の公共交通機関が動いていない状況でしたので、道路にはあふれんばかりの車で一杯でした。本来なら10分程で行けるところへ1時間30分もかかるような状態でした。これでは1日かかっても神戸には着けそうもないと判断し、その時点で運行されている一番神戸寄りの阪急電車の西宮北口駅まで電車で行くことにしました。電車の中は、ラッシュアワーの如く人・人…で一杯でした。西宮北口駅に着くと改札口までの数メートルを進むのに一苦労の状態でした。

3人が迷子になるくらい多くの人で一杯でした。そこからは、交通機関は何もなく、三宮まで約20kmの道程を歩き始めた。歩き始めるや、今まで大阪では見ることのなかったテレビに映し出される光景が現実に関、目の前にあったのです。

あちこちで崩れた家屋。亀裂の入った道路。毛布にうずくまって茫然と道端に座っている人々。リュックを担いで黙々と歩き続ける人々。鳴り止まぬサイレンの音。戦争体験の無い私にとっては、今まで映画やテレビでしか見たことのない光景が目の前に広がっていたのです。

三宮に着く頃には、そんな光景にも馴れてしまっていたのですが、三宮の光景は、これまでの光景とはまったく違っていました。西宮から三宮までは、一軒家があちこちで倒壊していたのですが、三宮に入ると鉄筋のビルがあちこちで倒壊していました。

そんな中の一つに我が支店の入居していましたビルがありました。前日の部下からの報告を聞いてはいましたが、実際にこの目で支店の哀れな姿を見た時は、本当に言葉が出ないほどの衝撃でした。9階建の強固なビルが8階建になり、我々の入居していた3階部分が押しつぶされてしまって、まったく何もないのです。もしこの地震が、3時間でも遅かったら…と思うと、背筋が寒くなる思いでした。

今、地震から4週間が過ぎ、新しいオフィスで業務を再開しております。幸いなのかどうか分かりませんが、昨年末に、本年4月から今入居しているビルへの転居を計画しており、契約も済ましておりました。このビルも、一部天井・壁が破損していましたが、水道・電気・エレベーターは通常どおり稼働していましたので、急拠転居しました。ガスの復旧には、かなりの時間がかかる予定です。当分は、暖房の効かないオフィスで我慢しなければなりません。

先日、一躍有名になった長田区へ行ってきました。こちらの光景は今までのとは、まったく違っていました。地震による火事の発生が、こんなに恐ろしいものとは想像もできませんでした。景色が遥か彼方までずっと見渡せるのです。すべてが燃え尽きているのです。今まで写真で見た、広島や長崎に見る原爆投下後の光景そのものでした。4週間たってもまだ燃えたニオイが辺り一面に広がっていました。

毎朝6時に家を出て片道3時間から4時間かけて通勤しております。リュック姿もだいぶ板に付いてきました。私のことですから、相変わらず元気にやっていますのでご安心ください。まだまだ、寒い日が続きますのでお体に十分気をつけてください。

敬具

平成7年2月12日

藤森憲司